



第98号 発行日：2026年4月1日  
発行者：社会福祉法人 椿福社会  
発行責任者：松尾弘美



〒538-0031  
大阪市鶴見区茨田大宮2丁目2番25号  
TEL 06-6911-1002 FAX 06-6911-1006  
WEB <https://tsubaki-fukushikai.com/>

## 新年度のご挨拶

昨年度も多くの皆さまから温かいご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。当法人では本年度も「利用される方々の尊厳を守り、その方らしい生活を支えること」を基本として、安心・安全な生活環境の提供と、質の高い福祉サービスの向上に、職員一同誠心誠意努めていく所存でございます。また、今後は、より一層の環境整備に努めるとともに、各施設内で季節を肌で感じていただける雰囲気づくりや、行事・イベントの充実にも力を入れてまいりたいと考えております。

また、今年度は更にICT化を推し進めていく所存です。支援業務には、利用者の方と接しない事務作業や間接業務が多くあります。この間接業務の負担は、ICT化により軽減できると私たちは考えています。例えば、支援の記録業務やバイタルのデータ入力でICTを導入し、システム内で共有すれば転記の入力ミスの防止にもなります。さらに間接業務の時間を減少させれば支援の時間を増やす事に繋がると考えます。今後もさらに高齢化が進むとされており、支援・介護が必要な人が増えていくにも関わらず、人口減少により支援・介護をする人材はますます不足していきます。今からでも何らかの手立てを打つしか他ありません。業務が効率化できることで職員にゆとりが生まれ、より前向きな姿勢で利用者支援ができることもサービスの向上につながりますので今後とも、椿福社会の活動に何卒ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人椿福社会理事長 高部真実



## グループホームの生活

グループホームでの暮らしは、行事など特別な時間も大切にしながら、毎日の「いつも通り」が穏やかに続くことを大切にしています。利用者の方一人ひとりが安心して生活できるよう、職員は日々の支援の中で小さな気配りを重ねています。

利用者の方の日中の活動場所はそれぞれ異なりますが、起床や朝食、夕食、就寝の時間は一定のリズムで行い、生活の見通しが持てるよう支援しています。決まった生活リズムの中で、その日の体調や気分に合わせて配慮しながら、無理のない関わりを心がけています。

また、毎日の健康管理にも力を入れています。朝夕の体温・血圧測定を行い、日々の体調変化を丁寧に確認しています。年に一度の健康診断も実施し、医療機関と連携しながら健康状態の把握に努めています。利用者の方の高齢化も進んでおり、これまで以上に健康面への配慮を大切にしています。

日々の生活支援は、主に世話人が担っていますが、宿直や休日の支援、通院対応など必要に応じて生活支援員が支援に入り、連携を取りながら利用者の生活を支えています。

支援の中で気づいたことは、職員間で共有し、ご家族や後見人の方、関係機関の皆さまとも必要に応じて情報を共有しています。

これからも、利用者の方が自分らしく安心して暮らせるよう、日々の生活を大切にしたい支援を続けてまいります。【グループホームつばき 小澤】



## ショートステイを利用してみませんか？！

グループホームつばきでは、ショートステイを実施しています。

「グループホームってどんなところ？」「どんなご飯を食べるの？」などなど、興味を持ってもらえる方は、ぜひ遊びに来て下さい。

夕方4時頃～次の日の朝9時頃まで一緒に過ごしてみして下さい。きっと楽しいと思いますよ。

利用定員	併設型（男性）4名、空床型（女性）空き1名
利用料金（訓練等給付費）	軽減措置や減免があります、一度ご相談ください
実費負担金（訓練等給付費以外）	朝食費370円 夕食費620円 光熱水費300/日

バリバリ働いている方は  
お仕事が終わってから来て下さい



出勤時間が早い方には  
早めに朝食を用意します



男性ホーム 鶴見区安田  
女性ホーム 城東区野江

お問い合わせ  
電話 06-6911-7007

# クレヨン

## 健康的に毎日通えるように…

今の生活ができるだけ長く続くようにと思っておられる利用者や家族の方は多いと思います。そのためにはこれから先も健康的に過ごしていく事がとても大切です。利用者の方は一般の方と比べるとどうしても運動する機会が少なくなってしまう、体力の低下が早いと言われていています。特に高齢者では、加齢に伴って体力の低下が進み、食生活にも影響を及ぼし生活習慣病などのリスクも高まります。

そんな中クレヨンでは健康の維持・促進を目的として様々な活動に取り組んでいますが、誰でも簡単に取り組める運動として散歩へ行く機会を作っています。また気候に左右される時もあるため、外に出られない日には施設内でできる運動にも取り組んでいます。今回はクレヨンで普段行っている活動の様子を一部ご紹介したいと思います！

○散歩の様子（行き先：鴻池スカイランド、安田住吉神社、大宮神社、安田公園、茨田大宮南公園、茨田大宮西公園）

～公園で滑り台や走ったりすることもあります～



○室内運動の様子（ストレッチ、ヨガ、ダンス、室内ウォーキング）

～みんなで体を動かして体操をしたり、踊ったり、歩いたりしています～



利用者は勿論職員一同、毎日健康で過ごせるようこれからも様々な活動に取り組んでいきたいと思っています。今日も1日、元気に頑張りましょう！（クレヨン 阪本）



# 🌸 ワークセンターつるみの郷

## 生活介護

2月23日（月）の午前中に生活介護利用者さんでおやつ作りを実施しました。朝の送迎車内では、おやつ作りの話題で盛り上がっていました。何のおやつを作るのかは当日のお楽しみにしていたので、皆さん楽しみにされていました。今回は簡単パフェ作りに挑戦しました。まずは、①牛乳とフルーチェをよく混ぜる。②フルーツをカットする。③紙コップにコーンフレークを入れて、その上にフルーチェを入れて、フルーツをトッピングする。工程を行いました。皆さん上手に盛り付けていき美味しそうなパフェが完成しました！！少し冷蔵庫で冷やしてから昼食のデザートとして美味しくいただきました。今後もおやつ作りを企画していますので、いまから皆さん楽しみにされています。何を作るかは・・・みんなで相談しましょう♪【ワークセンターつるみの郷 武田】



## 就労継続B型

1月30日（金）、就労の利用者さんと一緒に茨田大宮南公園へ散歩に出かけました。散歩は約半年ぶりです。皆さんもこの日を楽しみにしていた様子です。小雪が舞う肌寒い天気ではありましたが、公園へ向かう途中に自動販売機でそれぞれ好きな飲み物を選び、手にしながら歩く姿はどこか嬉しそうでした。

公園に到着すると、まずベンチに座ってジュースを飲みながらひと休み。その後は滑り台で遊んだり、鬼ごっこをしたりと、久しぶりの外遊びに自然と笑顔があふれていました。普段は外部清掃や製パン作業、室内作業に集中する時間が多いため、外でのびのびと過ごす機会は貴重です。皆さんが心から楽しんでいる様子が伝わり、職員としても嬉しい時間となりました。

また暖かくなった頃に、利用者さんと一緒に季節を感じられる散歩に出かけたいと思います。

【ワークセンターつるみの郷 平木】



## 初めての外出!? 鎌倉パスタランチへ!

1月30日に、4名の利用者さん、3名の職員で「鎌倉パスタ」に出かけました! 出発前からそわそわした利用者さんの様子も見られ、楽しみにしている気持ちが伝わってきました♪お店では、それぞれの利用者さんが思い思いにメニューを選び、笑顔がたくさん見られました♪それではここで、利用者さんひとりひとりの様子をお伝えしたいと思います!

Kさんは、何度もメニュー表を見ながらじっくり考え、「ボロネーゼ」を選ばれました。フォークとスプーンを上手に使いながら召し上がり、食後にはアイスコーヒーをゆっくり味わっておられました。

Hさんは、入店時から元気いっぱいでした! メニューを指さして「ボロネーゼ」を選び、持参した自助具を使って最後までしっかり食べることができました♪食後のオレンジジュースも嬉しそうに飲み、素敵な笑顔が見られました!

Mさんは、終始にこやかに過ごし、「カルボナーラ」を選択しました。料理が運ばれてくると丁寧に混ぜながら、落ち着いて味わって食べていました♪

Mさんは、朝早くから準備を整え、出発を心待ちにしていました♪お店では、「和風クリームパスタ」とパンが3つ付いたセットを選び、あっという間に完食しました! 途中、店内の様子が気になる場面もありましたが、職員と一緒に過ごすことで落ち着き、最後は皆さんと同じように穏やかに待つことができました♪

つるみの郷に入所してから、初めて外出に参加された方もおられ、帰ってからも「楽しかった」と話される姿が印象的でした。これからも、皆さんの笑顔が広がる時間を大切にしていきたいと思ます!

(つるみの郷 スオン)



# 研修

## 安全防災部会

安全防災部会主催の研修では、最初にBCPについて学びました。BCPとは〈事業継続計画〉のことで、利用者の安全確保と事業継続の両方を目的とした計画です。具体的には、自然災害や感染症などの緊急事態が発生した場合でも、重要な事業を中断させない、または中断しても可能な限り短い期間で復旧させるための指針、体制、手順などを定めたものです。

椿福祉会でも各事業所で作成しており、緊急時の利用者・職員の安全確保、情報共有や相互支援を円滑に、より効果的に行えるように明記しています。

研修後半は、帰宅困難な状況になった場合の炊き出し準備を練習しました。木材を切って薪を作ったりレンガを積んでかまどを作ったりと、普段したことのない作業に戸惑いながら参加した職員が協力して取り組みました。木材を切るためにのこぎりを準備していたのですが、とても時間がかかり、なたなどで割っていく方が早く割れることやかまどにするためにはたくさんレンガが必要なこと等を、実践して知ることができました。

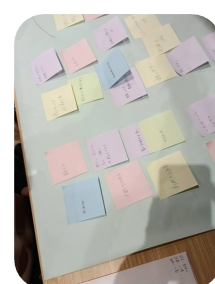
【ホームヘルプセンターひまわり 藤本】

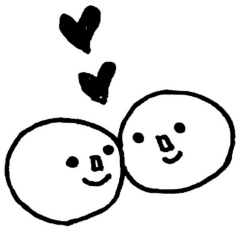


## 階層別研修（7年目以上の職員）

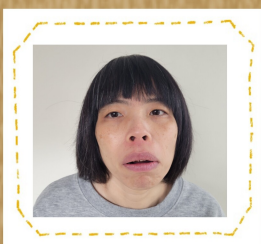
7年目以上の職員研修ということもあって討議では過不足ない話し合いが出来ました。KJ法によるリーダーの条件については「上司と現場の間に上手く入ってくれる」という意見が1枚だけありました。グループ全体の討議では「業務が出来る」「人柄がよい」の陰に隠れてしまったような感じでしたが、言い換えれば「法人の理念を周知」「現場の意見を吸い上げる」存在でもあり、これも必要なリーダーの条件ではないかと思いました。

事前の準備として「EQテスト」（日本語では「感情知能指数」）を実施して、その結果を持って研修に参加しました。「メタ認知力」「情動活用」「感情コントロール」「他者感情の知覚」「共感性」「集団感情への対応」など個人の自己覚知、自己理解についての「気づき」に有益なテストでした。ただ、個人情報になるのかどうかは分かりませんが自己覚知、自己理解のためだけでは少し勿体ないと思いました。個人の特性のようなものを客観的に把握できる可能性があり、集団作り、組織作りにとっても有益な情報だと思いました。【つるみの郷 小橋】





# みんなの笑顔



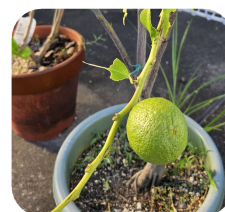
# 「利用者さんが関わりやすい園芸環境へ！」

これまで屋上で様々な野菜を育ててきました。たとえば、きゅうりやなすび、じゃがいもやさつまいも、オクラやししとう、レモンなんかも育ててきましたね。屋上での園芸を中心に行っていたのですが、屋上が工事することになり、屋上での栽培は難しくなりました。そこで、屋上で行っていた園芸を、2階のベランダで行うことになりました。屋上での菜園活動は、季節の風や日差しを感じながら水やりや収穫ができ、普段はあまりできないことでたくさんの利用者さんに関わってもらいました。一方で、屋上ということで、日常的に関わるには少しハードルがあることも感じていました。そこで、もっと身近に、もっと気軽にできないかなあということで、活動場所を2階へ。ベランダは居室や活動スペースからも近く、思い立ったときにすぐ様子を見に行くことができます。「今日はお水をあげましょう」「つぼみがついているよ」「きれいなお花ですね」といったやりとりもたくさんしていきたいですね♪また、水やりや観察を当番の役割として担っていただくことで、責任感や達成感にもつながっていくのではないかと考えています。毎日の小さな積み重ねが、生活リズムを整えるきっかけにもなると思います。これからはベランダという身近な空間で、みんなで声をかけ合いながら園芸活動していければと思います。

なお、野菜の成長の様子や水やりの様子等は随時インスタグラムでも発信していく予定です。ぜひご覧いただき、あたたかく見守っていただければ幸いです。

(つるみの郷 雫)

【屋上で過去に育てた野菜たちや育てている様子】



## 《おしらせ》

2026年5月31日をもって、ホームヘルプセンターひまわりを閉所することになりました。

23年間、移動支援で様々な所に行き、きれいな景色を見たり美味しい物を食べたり、たくさん話して笑いあったり…思い出は数え切れません。家事援助や身体介護、通院介助等で日常生活の支援にもたくさん携わらせていただき、感謝でいっぱいです。

利用者の皆様、支えていただいたヘルパーの皆様、ありがとうございました。

寒かった冬もようやく終わり、ポカポカ過ぎやよい春がやってきましたね。今年の冬は例年のない寒波があったことで、2月は特に寒かったです。早く春が来ないかなと待ち遠しく思っていました。暖かくなると困るのが花粉症です。花粉症なんですが、5年ほど前に突然発症しました。始まりは目の痒みで、一晩一睡もできないほど痒くて辛かった記憶があります。翌日病院受診をして検査をすると、スギ花粉症だと判明しました。そこから鼻水、くしゃみ、目の痒み、頭痛；等、様々な症状が出るようになり、暖かくなる時期を素直に喜べなくなりました。現在花粉症とは無縁の方、発症はある日突然やってくるので、みなさん気を付けてください。

【ワークセンター 高田】

編集後記